

第3期大学編入課程科目概要

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 本田 美邦里

科目名: TOEFL対策講座(中級)

使用テキスト: プリント 参考文献:

授業概要

KUIS英米語学科3年次編入時基準点(480点)を学院卒業までにクリアできるよう計画を立てながら準備をしていきます。6月30日(火)実施のTOEFL ITPテストを目標に問題を解きながらテスト対策をします。授業のレベルはTOEIC600点程度としています。問題や試験に慣れることが基準点到達の鍵です。

評価方法:

FまたはPでの評価となります。

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期:2年次1学期

担当講師: 倉持/長谷川

科目名: 言語学/英語学概論

使用テキスト:プリント

授業概要

言語学とは何かを理解するための概論講座です。言語学や英語学に関心がある人は、ここで取り上げたトピックから、さらに自分で関心を持ったものを大学での学びに結び付けることを勧めます。また、この講座は東京外語大学など言語学を専門試験科目とする大学編入入試の対策講座でもあります。それぞれの目的に従い、大いに役立ててください。言語についての基礎知識を得、さらに自分の専門選びや研究テーマ選定に役立てる。入試の言語学試験に自信を持って臨める力を付けることを目標としています。

週	授業内容	備考
第1回目 4/22(金)	言語学とは何か(言語のカテゴリー・近代言語学について)	倉持
第2回目 5/6(金)	言語の特徴(ソシユールの発見から)	倉持
第3回目 5/13(金)	音声学Ⅰ(発音の仕組み)	倉持
第4回目 5/20(金)	音声学Ⅱ(アクセント、拍等)	倉持
第5回目 5/27(金)	形態論(言葉の成り立ち)	倉持
第6回目 6/3(金)	英語学概論(英語の特徴)	長谷川
第7回目 6/10(金)	英語の歴史	長谷川
第8回目 6/17(金)	統語論Ⅰ(文の成り立ち)	長谷川
第9回目 6/24(金)	統語論Ⅱ(文法とは)	長谷川
第10回目 7/1(金)	言語習得論(子供の言語習得と第二言語)	長谷川
第11回目 7/8(金)	対照言語学(主に日英)	長谷川
第12回目 7/15(金)	語用論・語彙論(言語使用の実際・メタファー等)	倉持
第13回目 7/22(金)	社会言語学(言語変化や身近な言葉)	倉持
第14回目 7/29(金)	編入問題対策(言語系小論文)	倉持
第15回目 8/5(金)	編入問題対策(専門試験対策)	倉持

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じです。(学生手帳該当部分参照。但し、遅刻の規定には変更があるためご注意ください。)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 柿坂学

科目名: マクロ経済学概論

使用テキスト: プリント 参考文献: プリント

授業概要

経済経営系学部に編入を希望する学生を対象に、マクロ・ミクロ経済学の講義を行います。これらは、経営系学部
を志望する場合でも必要になることが非常に多い分野です。経済学は数学ではありません。コツさえつかめれば、
義務教育が終わってれば必ずできるようになります。経済経営系に編入を希望する学生は、ぜひ参加してくださ
い。なお、単位のための授業では一切ありません。あくまで編入試験に合格することのみを目的とします。趣旨を
ご理解いただける方のみご参加ください。

週	授業内容	備考
第1週	余剰分析 2	ミクロ経済学
第2週	独占	ミクロ経済学
第3週	複占	ミクロ経済学
第4週	三面等価の原則	マクロ経済学
第5週	消費関数と貯蓄関数	マクロ経済学
第6週	財市場の均衡	マクロ経済学
第7週	乗数	マクロ経済学
第8週	貨幣需要	マクロ経済学
第9週	貨幣供給	マクロ経済学
第10週	I S 曲線	マクロ経済学
第11週	L M 曲線	マクロ経済学
第12週	I S - L M 分析 1	マクロ経済学
第13週	I S - L M 分析 2	マクロ経済学
第14週	A D - A S 分析 1	マクロ経済学
第15週	A D - A S 分析 2	マクロ経済学

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ
(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 稲葉

科目名: 経営学概論

使用テキスト: (馬場杉夫他)中央経済社『マネジメントの航海図』

授業概要

経営学部(経営学科)・商学部ではどのようなことを学び、どのような基礎知識が必要なのか概要をつかんだうえで学科試験対策に入り、一般的な出題傾向や大学特有の問題などに触れていきます。この講座では、経営学における基本から入り、最終的には経営学修士課程(MBA)程度の知識・思考力の養成を目指します。4月に集中講義を行い、知識付与を行い、『論理的に思考できる枠組み』を整え、経営学・マーケティング、人的資源管理領域を深く学びます。さらには財務戦略にも触れていきます。

週	授業内容	備考
第1週	マーケティング戦略論① <マーケティングの役割・環境分析・製品戦略>	
第2週	マーケティング戦略論② <ブランド戦略・戦略的価格設定・営業戦略>	
第3週	マーケティング戦略論③ <流通チャネル論・マーケティングリサーチ>	
第4週	経営組織論①<組織行動学・モチベーション・ロジカルシンキング・リーダーシップ>	
第5週	経営組織論②<組織と意思決定・管理プロセス・組織設計・計画とコントロール>	
第6週	問題演習①	
第7週	問題演習②	
第8週	人的資源管理論	
第9週	会計・財務戦略①	
第10週	新たなマネジメント課題	
第11週	経営戦略論 <総合演習・ケーススタディ>	
第12週	問題演習③	
第13週	問題演習④	
第14週	会計・財務戦略②	
第15週	問題演習⑤	

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 龍崎

科目名: 社会学概論 2

使用テキスト: プリント 参考文献: 随時紹介

授業概要

現代社会の諸問題を社会的に分析する力を身につける授業です。知識のインプットだけではなくアウトプットもすることで、社会的に考えるセンスを身につけてもらうことを目的としています。

週	授業内容	備考
第1週	コミュニティの衰退とソーシャル・キャピタル	
第2週	貧困問題: 「社会的排除」	
第3週	少子化: 家族の多様化・リスク化	
第4週	「個人化」する現代社会	
第5週	「リキッド・モダニティ」	
第6週	「近代社会」の近代化: 再帰的近代化	
第7週	グローバル化がもたらす「底辺への競争」	
第8週	「大きな政府」と「小さな政府」: 「第三の道」?	
第9週	ネーションとナショナリズム	
第10週	「排除型社会」: 弱者バッシング・ヘイトスピーチ・排外的ナショナリズム	
第11週	多文化主義に隠された「オリエンタリズム」	
第12週	「文明の衝突」?: 「文明の接近」	
第13週	地方衰退と「まちづくり」	
第14週	環境問題の構造	
第15週	生命をめぐる自己決定拡大に潜む「生-権力」	

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 辻岡大介

科目名: 法学/政治学概論

使用テキスト: プリント 参考文献:

授業概要

3学期の法学入門の内容を踏まえて、法学部法律学科および政治学科の編入試験の合格に必要な事柄をより詳細に解説します。あわせて、法学・政治学系の小論文の書き方も指導し、小論文形式の過去問を実際を書く機会も設ける予定です。

週	授業内容	備考
第1回	法学一般① 出題頻度の高い概念や用語を中心に解説	
第2回	法学一般② 小論文形式の試験で出題が予想される法学に関わるテーマを解説	
第3回	法学一般③ 小論文形式の試験で出題が予想される時事的なテーマを解説	
第4回	法学一般④ 小論文形式の試験で出題が予想される時事的なテーマを解説	
第5回	演習① 法学系小論文の書き方の解説と第4週までに学習したテーマについて実際に答案を作成	
第6回	憲法① 日本国憲法の基本理念、改正手続など	
第7回	憲法② 基本的人権に関する重要な判例の解説	
第8回	憲法③ 統治機構、財政、地方自治	
第9回	演習② 憲法の問題の答案作成方法を解説し、実際に答案を作成	
第10回	民法 民法の概要、民法の基本原則など	
第11回	政治学① 政治学の概要、政治、権力、支配など基本的な概念の解説	
第12回	政治学② 議会制民主主義	
第13回	政治学③ 主要国の政治制度	
第14回	政治学④ 政治思想、政治哲学	
第15回	演習③ 政治学の問題の答案作成方法を解説し、実際に答案を作成	実施日時: 8月2日

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳該当部分参照。但し、遅刻の規定には変更があるためご注意ください。)
編入対策が目的の講座なので、単位認定に関わらずすべての授業に出席して下さい。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 辻岡大介

科目名: 国際関係学概論

使用テキスト: プリント 参考文献:

授業概要

国際社会の現状とそれを理解するために必要な範囲での国際社会の歴史を中心に解説します。法学部国際関係(法律)学科だけでなく、国際〇〇という名称がつけられた学部の編入試験に対応できる内容を予定していますが、参加する学生の志望先に合わせる形で授業内容を若干変更する可能性があります。

週	授業内容	備考
第1週	国際社会の概要(主権国家の意味、国際社会の仕組みなど)	
第2週	国際社会の歴史①(第一次世界大戦と国際連盟)	
第3週	国際社会の歴史②(第二次世界大戦)	
第4週	国際連合①(国連の歴史と仕組み)	
第5週	国際連合②(国連の活動・国連改革)	
第6週	冷戦(冷戦の意味・歴史など)	
第7週	地域紛争①(朝鮮戦争・ベトナム戦争)	
第8週	地域紛争②(パレスチナ紛争・カシミール紛争・ユーゴスラビアなど)	
第9週	EU(EU発足までの歴史・EUの仕組みなど)	
第10週	ASEAN(ASEAN発足までの歴史・ASEANの仕組み・周辺国との関係など)	
第11週	国際経済①(外国為替・国際通貨体制など)	
第12週	国際経済②(国際貿易・FTA・TPPなど)	
第13週	国際法(条約・海洋法・国際司法裁判所など)	
第14週	日本の外交と領土問題	
第15週	国際社会問題(環境・人権・難民など)	

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 近藤 未佳子

科目名: 人文系小論文初級面接対策

使用テキスト: プリント 参考文献:

なし

授業概要

文系学部(経済・経営を除く)編入試験の小論文の基本を学ぶ講座です。課題文型(資料を読み取り書く)・テーマ型(資料なしで書く)・志望理由型の練習をします。この講座の目標は、①論文の形式に慣れる、②文の作り方に慣れる、③課題の文章を正確に読めるようにする、④設問に沿った意見が出せるようにする、の4点です。後半は、編入試験に必要な志望理由書や面接試験対策も行いますので、秋に受験を考えている方は、そのまま実際の試験に応用できるような授業内容となっています。授業はグループワークを中心に進めていきますので、実際に考え、書き、話し合いながら授業に積極的に参加することが望まれます。

週	授業内容	備考
第1回	小論文の基礎とアウトラインの作成	
第2回	アウトライン作成のワークショップ	
第3回	テーマ型小論文のワークショップ	
第4回	面接概要ガイダンス	実施日時: 5月18日(水) 17:15~18:45
第5回	面接対策のワークショップ	
第6回	面接対策のワークショップ	
第7回	テーマ型小論文のワークショップ	
第8回	テーマ型小論文のワークショップ	
第9回	課題文型小論文のワークショップ(客観的読解)	
第10回	課題文型小論文のワークショップ(客観的読解)	
第11回	課題文型小論文のワークショップ(批判的読解)	
第12回	課題文型小論文のワークショップ(批判的読解)	
第13回	志望理由型小論文のワークショップと課題小論文の解説	
第14回	志望理由型小論文のワークショップ	
第15回	小論文・面接・志望理由書の総まとめと夏休みの課題について	実施日時: 8月3日(水) 13:40~15:15

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じです。(学生手帳該当部分参照。但し、遅刻の規定には変更があるためご注意ください。)
編入対策が目的の講座なので、単位認定に関わらずすべての授業に出席して下さい。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 倉持 益子

科目名: 人文系小論文中級面接対策

使用テキスト: プリント 参考文献: 場合に応じてプリント

授業概要

小論文と面接には、述べ方(中心文・支持文)、分析力、表現の論理性と具体性が重視されるなどの共通点がある。この講座では、これらの共通点に着目し、双方が伸びるよう進めていく。授業では、「脱一般論」を目標に考え方を深めるため、資料の読み取りやディスカッションを入れていく。

週	授業内容	備考
第1回	小論文と面接の共通点 志望理由を掘り下げる	4月19日
第2回	面接・小論文 自分の目指す学びの意義	4月26日
第3回	面接・小論文 時事・社会問題「18歳参政権」を考える	5月10日
第4回	面接対策・選挙関係まとめ	5月17日
第5回	面接小論文対策 メディアとコミュニケーションについて	5月24日
第6回	直前面接対策 前半総まとめ	5月31日
第7回	課題文型小論文(教育関係)	6月7日
第8回	課題文型小論文(英語関係)	6月14日
第9回	課題文型小論文「国内時事」1	6月21日
第10回	課題文型小論文「国内時事」2	6月28日
第11回	課題文型小論文「国際関係」1	7月5日
第12回	課題文型小論文「国際関係」2	7月12日
第13回	研究テーマ・受けたい授業・キャンパスライフ+志望理由書作成	7月19日
第14回	よく聞かれる面接の質問「本・社会問題」	7月26日
第15回	集団面接体験(総まとめ)	8月2日

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳該当部分参照。但し、遅刻の規定には変更があるためご注意ください。)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程シラバス

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 柿坂学

科目名: 社会系小論文面接対策

使用テキスト: プリント 参考文献: プリント

授業概要

社会系学部(法学政治学系・経済経営系・社会学学際系・国際関係系など)の学部に編入を希望する学生を対象に、小論文を書く力を養います。社会系の小論文では、最低限の知識について解説を行ったうえで、書く力を養うため、毎回演習を行います。面接対策としては志望理由書を仕上げしていきます。希望者は参加してください。なお、単位のための授業では一切ありません。あくまで編入試験に合格することのみを目的とします。趣旨をご理解いただける方のみご参加ください。

週	授業内容	備考
第1週	「論じる」ということ	
第2週	文章要約の仕方	
第3週	格差	
第4週	少子化・高齢化	
第5週	雇用	
第6週	科学技術	
第7週	T P P	
第8週	中国	
第9週	イスラム	
第10週	地球環境	
第11週	難民	
第12週	高度経済成長	
第13週	バブル経済とその崩壊	
第14週	志望理由書	
第15週	まとめ	

備考欄

単位認定のある授業について、単位認定(P)を受けるための出欠席および遅刻についての基準は通常授業と同じ(学生手帳P.5~8該当部分参照)

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程科目概要

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 稲葉

科目名: 編入英語対策講座(中級)

使用テキスト: プリント 参考文献:

授業概要

主に、標準レベルの英文読解問題、要約問題、英文法・語法問題を扱います。上級講座との並行受講も可能です。自分の現状に合わせて受講して下さい。原則全15回に必ず出席することが受講資格です。安易な受講は認めません。

評価方法:

FまたはPでの評価となります。

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。

第3期大学編入課程科目概要

実施時期: 2年次1学期

担当講師: 稲葉

科目名: 編入英語対策講座(上級)

使用テキスト: プリント 参考文献:

授業概要

国公立・私立難関合格を目指すため、東京外国語大学・名古屋大学・筑波大学編入受験レベルで授業を行います。中級講座との並行受講も可能です。自分の学力に合わせて受講して下さい。主に、難易度の高い英文解釈、和文英訳、長文読解を扱います。原則全15回に必ず出席することが受講資格です。安易な受講は認めません。

評価方法:

FまたはPでの評価となります。

2授業時間(45分×2)を週1回、合計15回の授業を受講し合格した場合に、選択科目として2単位を認定します。